

ゆきの灯り

第6号
平成29(2017)年
6月発行
油木協働支援センター
0847-82-0701

平成29年度 通常総会開催

4月28日(金)平成29年度通常総会が開催されました。神石高原町議会議員 松本彰夫様のご祝辞の後、28年度の事業報告、29年度の事業計画案、予算案の説明を行い、議案は全て承認されました。

平成29年度 自治振興会長



- | | | | | | | | | |
|----------|----------|-----------|----------|-----------|-----------|----------|----------------|----------|
| 城山 田邊 浩一 | 西油木 三原 豊 | いちば 松岡 純夫 | 東油木 内藤 栄 | 南ゆき 赤木 菊二 | 安田 矢田貝 光男 | 小野 前原 孝史 | 源流の里しんさか 横山 博則 | 仙養 平元 行信 |
|----------|----------|-----------|----------|-----------|-----------|----------|----------------|----------|



平成29年 油木協働支援センター 事業計画

- 1 各種会議の開催
 - ① 総会
 - ② 幹事会
 - ③ 円卓会議
 - ④ 事業テーマごとの運営会議
 - ⑤ 特産品開発研究会
 - ⑥ 生涯学習の推進会議
 - ⑦ 長期事業計画の推進
 - ⑧ 指定管理施設の管理
- 2 油木コミュニティセンター
 - ① 油木多目的グラウンド
 - ② 油木スポーツ広場
- 3 生涯学習の推進(ゆきなび)
 - ① 放課後子ども教室
 - ② サークル活動
 - ③ 青少年健全育成
 - ④ 現代的課題の学習(人権学習)
 - ⑤ 各種社会教育団体の支援
 - ⑥ 自治振興会の支援
 - ⑦ 大人の教室
 - ⑧ (手芸・太極拳・デジカメ・パソコン・スカッシュ・お茶など)
 - ⑨ 平和学習・ミニ原爆展
 - ⑩ 各種団体活動・地区内行事の側面支援
- 4 油木ふるさとまつり等行事の側面支援
- 5 地区文化祭等文化伝統の支援
- 6 広報活動

平成28年度 収支決算報告

収入 合計	31,183,284
支出 合計	24,841,342
差引	6,341,942

収入の部

町交付金	20,320,000
町補助金	10,862,595
雑収入	689
合計	31,183,284

支出の部

人件費	16,200	臨時雇用賃金
報酬	2,000,000	10自治振興会長報酬
費用弁償	532,000	円卓会議・策定委員会等
事務費	566,047	
負担金補助及び交付金	20,046,595	各振興会運営費等
まちづくり助成金	1,672,000	ふるさとまつり 南ゆき東屋等
予備費	8,500	
合計	24,841,342	

平成29年度 収支予算

収入 合計	41,390,000
支出 合計	41,390,000
差引	0

収入の部

町交付金	18,514,000
町補助金	16,476,915
平成28年度 繰越金	6,341,942
雑収入等	47,143
寄付金(ふるさと納税)	10,000
合計	41,390,000

支出の部

人件費	5,418,000	センター職員分
報酬	1,800,000	9自治振興会長報酬
費用弁償	390,000	幹事会・専門部会等
事務費	1,145,000	
事業費	4,368,000	長期事業計画29年度分
負担金補助及び交付金	20,198,915	各振興会運営費等
まちづくり助成金	7,770,000	ふるさとまつり等
予備費	300,085	指定管理施設会計等
合計	41,390,000	

生涯学習部のイメージキャラクターとして、『ゆきしろう』が誕生しました。ゆきしろうは、肌が油木に降る雪のように白く、油木のことをいつも知りたいと思っている元気な男の子です。広報誌やホームページ等に登場しますので、『ゆきなび』同様よろしくお願い致します。

可愛がってね

ゆきなび です。

油木協働センターがまなびをnavigate(導くという意味)する場所であり、また油木の住民の皆さんが自らの人生をnavigate(導く)するために、積極的に学んでいただきたいという想いを込めて、決定いたしました。

生涯学習部(公民館)の名称が決まりました!



5月27日 **自然を楽しむ会**
高原のそよ吹く風を感じながら、全員、権現山まで登りました。



5月20日 **キッズ英会話教室**
3時間の長時間でしたが、皆で楽しみ、あっという間に時間が過ぎました。



5月13日 **キッズ料理教室**
美味しいホットケーキがたくさん焼き上がりました。

ゆきキッズ 報告

いのち
生命の貯蓄体操

毎週水曜日 10:00～11:00
連絡先 平田サエ子
☎ 82-0855

エアロビクス教室

毎週水曜日 19:30～20:50
連絡先 松本彰夫
☎ 090-8245-1336

サークルメンバー募集中

夏の手芸

手芸倶楽部

ステンシルで布巾づくり
7月4日(火)
材料実費が必要になります。
6月26日までにお申し込み
下さい。
先着 10名様

ご参加
待って
まーす



ゆきなび 参加者募集



5月14日 東油木田植え交流会



5月14日 小野大運動会



5月28日 油木地区スポーツ祭



5月21日 仙養ふれあい運動会



快晴の下、様々なイベントが行われました。

油木協働支援センターのホームページ・フェイスブックにはその他多くの写真を掲載しています。

貝原地獄の話 その二

赤木 健二

編集後記 久保 祐子

昭和29年には、東城や豊松へ抜けられるようになりまし。その後、昭和34年には油木へ向けて町道出佐線が開通。ようやく油木へ自動車で行かれるようになりました。とはいっても当時は車を持った家はほとんどありませんでしたが。

その後、車社会が訪れて道路が大切な動脈となり、貝原からは油木・東城・豊松・備中湖方面へと四方八方へ抜けられるようになりました。

昭和47年には、当地方で集中豪雨に見舞われ、大きな被害が出ました。国道182号線は平井から東城方面が通行止めとなり、迂回路に町道出佐線が使われました。狭い道路に車がいっぱい行きかき、かわすのに大変な日が続きました。これを辛抱すれば少しは道路の改良が早まるかも。と、淡い希望も空しく改良はどんどん遅れるばかりでした。

くっく

過ぎやすい季節ですね。鳥たちの鳴き声を聴きながら、美しい緑の山々を眺めるとき、神石高原町に来てよかったと心から感じます。

協働支援センターで働き始めて2か月が過ぎました。少しずつ慣れ、仕事も楽しくなってきたところです。

今回の『ゆきの灯り』はいかがでしたか。ゆっくり読んでいただければ幸いです。

油木協働支援センターは住民の皆さん一人一人の心の中にある灯りを灯してもらったための着火剤のような役割を担っていきたくと考えています。そしてその灯りを集めて、大きな『ゆきの灯り』としていけるように、センター一同頑張っています。